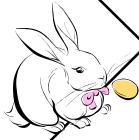


明倫

題字：楨村正直

平成二十三年一月二十日発行
明倫自治連合会広報委員会
発行部数20000部



明倫自治連合会副会長
明倫自主防災会 会長

酒井英一



私たちの町は私たちが守る

『卯年のしごと』
明倫自治連合会 会長 吉田孝次郎

卯歳の元旦、久々にきびしく冷たいことでした。身のきしまる思いで恵方棚を拜む。今年の恵方は「南南東」、私達の明倫学区にとつて氏神様の八坂神社。農作物の実りを願う稲荷大社に香水の御香宮が今年の福徳を司る、実にめでたく嬉しい年。

私が明倫自治連合会を束ねて満七年。各種団体の責任体制の右返りと住民の八〇%を占めるマンション居住者のユオンの結成など、まちづくりを進めることが出来つつあることを「明倫新春号」に報告できるところを喜んでゐる私。

昨夏八月の終わりに祇園祭山鉾連合会の理事長に就任。昭和四十一年以来、十七日の先祭りと二十四日の後祭りが合同巡行となつて四十六年が経過。祇園さんの神輿が神泉苑で疫病退散の祭りを済ませ、本社にお戻りになる還幸祭に伴う風流山の巡行の復興を願つて五月。明倫、龍池、城巽、本能の住民らの支持の声もいただいている。山積みする困難を見据えながら、復興議論に氏子達の参加を紙面を通じて呼びかけることを今年初めの仕事といたしたい。



私たちの町は私たちが守る
よく聞く言葉ですね
では、何から守るのでしょうか
災害から守るのです

では、災害ってなんでしょう
天災や戦争・事故などによつて受ける
わざわい(岩波国語辞典のことです)

天災と云つても洪水は、京都市では
発生しても、明倫学区ではありません
明倫で天災と云えば、地震でしょう
大地震 明倫でこの前の大地震といえ
百八十年前(天保元年)
マグニチュード6.5

この前の戦争から六十六年

今度、武力攻撃があれば放射性物質
汚染 でしょうか

この前の感染症と云えば、明倫では
百十六年前の明治二十八年コレラの流
行で

祇園祭の後祭りは十月十八日に延期
死者などは不明。
今、怖いのは、H5N1ウィルス

地震、放射能、感染症などの災害から
我が明倫を守る
私たちの町は私たちが守る
これが明倫自主防災会の使命です
これが、明倫自主防災会の使命です。

救命講習会お知らせ

日時 3月5日(土)

時間 2時から5時まで

場所 元明倫幼稚園遊戯室

内容 AED 心肺蘇生法

三角巾の使い方

講師 中京消防署員

通信病院看護士

受講料 無料

申込方法

2週間前(2月19日)

まで

各町内防災部長又は

e-mail a-bon@vega.ocn.ne.jp

まで申し込んでください



MMN 情報コーナー

明倫マンション ネットワーク

第一回評議会報告

「マンションと隣近所のお付き合い」が「マンション」として近所の間にある課題・起る問題とは
平成22年(2010)10月17日(日)
グループ員

アワーズ四条烏丸：河本 馨(502号) 佛教大学社会学部 教授：谷口浩司

コンフォール室町黒主山：中島 康(803号) 立命館大学政策科学部：土橋琢史

三条室町アーバンライフ：山口陽平(203号)

ヴィヴァーチェ三条室町：山田照子(603号)

ネバーランド室町：濱中久子(803号)

ローレルコート室町：赤井又三郎(702号)

アワーズ四条烏丸：24戸・理事6名、理事会は不定期。自治連・町内会行事には、河本は参加しているが、他の方はあまり参加していない。

コンフォール室町黒主山：31戸・理事会は頻繁に行う。理事会としては、町内会にはノータッチでも、行事への参加はある。

管理会社を替えた。高い額だけでなく、管理内容・中身の問題。

神木の桜を守る。町内会がなかなか動いてくれなかった。前から住んでいる方は閉鎖的な印象を受けた。

三条室町アーバンライフ：65戸・理事6名・1〜2ヶ月に1度。理事会として町内会とは直接の関わりは無いが、祇園祭等の行事には、三条室町アーバンライフの住民も積極的に参加されている方もおられる。

最近では、新しく南隣りに建設のマンションとの距離や目隠し日照問題で頻繁に理事会を行っている。

ヴィヴァーチェ三条室町：38戸・理事6名、大規模修繕について検討中。町内会費は払っている。昨年から夏祭りに参加して、町内会との交流は良くなった。

ネバーランド室町：46戸・理事4名、監事1名・理事会は月1回。広報委員会、エントランス改善委員会を立上げ適時行っている。

現在までの町内への関わりはほとんどなく、町内会との付き合い方がよくわからない状態でしたが、最近問題視されるようになってきた。

町内会費は、ネバーランド室町全体で支払っているが、菊水鉾保存会との関係で町会費の支払い方がよくわからないので、今後明確にし、改善すべきであるとの意見がある。

エントランスの水盤状態が悪い等で、2年補償期限に向け改善活動中である。

ローレルコート室町：135戸・理事10名・任期は2年の半数交代で引継ぎ事項がスム

次回 第二回評議会

一月二十三日(日)

7時より明倫自治会館会議室にて
「衣笠グリーンハイツ38年の歩み」

副理事長の沼田弘子氏にお話し頂きます。

築後38年間にどのような課題が起り、どのように対処されてきたか、参考になる部分があつたと思ひます。

例えば、一般的に大規模修繕とは築12年目(最近では14年〜15年)に行われる外壁工事や屋上の防水工事等を大規模修繕と呼んでいるようです。

衣笠グリーンハイツでは、一定の周期で大規模修繕を行う方式は取っておられません。

一スになった。以前は、大きな問題が伝わっていない事があり困った。理事会は月一回。諮問委員会として、修繕委員会、管理規約改定作業部会がある。

昨年第一回目の大規模修繕を行いました。町内会は、第3組(東側は1組、西側は2組)として、毎年町内会の三役として加わり、春秋のレクリエーションやウォーキングに参加。

企画会議「マンスリー」にも積極的に参加し、明倫自治連合会各委員会にも数名が所属している。鯉山保存会の会員数も年々増え、現在十名が登録されている。

但し、外壁工事は足場を設置しますので当然ベランダの改修工事、手すりの鉄部塗装工事は同時期に計画いたします。

それには、お互いのマンション総会等には是非一是非出席をしてみましよう。

管理会社等の実態を知り、他のマンションとの比較等も情報交換して頂くことです。

MMNは、エクスパートです！是非新春から、スタートして下さい。
ご参加お待ちしております。

記 大村・田原

連絡先

中島 090-1074-8649

MMN・BLOG

『今年度の避難訓練』

『負傷者の救助』

十一月十三、十四日、明倫文化祭が開催された。この文化祭のイベントの一つとして、十四日には防災避難訓練が行われた。

各マンションで火災警報を発報し、それに従い、各マンションのエントランスに集合し、そこから誘導の上、芸術センターに全員集合した。そこで、消防署、通信病院の二指導の下、三角巾を使った負傷者の応急手当の方法、シーツを使った負傷者の応急搬送の方法を学んだ。

大規模災害が起これば、各マンション内では警報が鳴り、あるいはセキユリテイステムが作動するだろう。そこからはどうなるのか。セキユリティーの業者とは連絡もとれず、来てくれるわけもない。消防署も動きがとれず、接近する道もないかもしれない。まずは、自分たちで身を守らなければならない。

このような万一の場合、負傷者の応急手当、応急搬送は、果たして住民の間でうまく機能するだろうか。

新約聖書に、隣人愛に関わるエピソードがある(ルカ十章)。

ある人が負傷して道に伏していた。ユダヤ教の祭司が彼を見たが、無視する。おそらく彼が異教徒だったからである。次に、レビ人が彼を見たが、そのレビ人も無視して通り過ぎる。おそらく彼がよそ者であつたからであろう。ところが、あるサマリア人が来合わせ、彼を手厚く介抱する。その地では、サマリア人は異教徒であり、よそ者とみなされていた。その当のサマリア人が、彼を助けたのである。



シーツを使つての搬送

負傷者を手当てすることをしなかった者達の理由は何であつたか。愚かな人間関係のしがらみと排他主義である。

今回も避難訓練には百人を超える参加者があつた。普段はこのまちに無関心に見えるマンション住民も、いざという時にはその大多数が良きサマリア人となると私は確信しています。

記 MMN代表 中島 康

『ネバーランド室町通菊水鉾町ROMAN』

所在地 中京区室町通り錦小路
下る菊水鉾町五七〇番地

平成二十年(2008)十一月入
居開始

鉄骨鉄筋コンクリート地上
十一階建て総戸数 四十六戸



☆伝統の地に。

『ネバーランド室町通菊水鉾町ROMAN』はその名にもあるとおり、もともとROMAN(吉忠株)さんと菊水鉾保存会さんの所有地という伝統ある場所に建設されました。南隣は菊水鉾の運営に大きく関わつておられる大松株さんと隣接しております。施主である日本工スコンもその伝統を守るべく、ネバーランドシリーズのなかでもプラチナムと呼ばれるハイグレードタイプとして、エントランス外側は滝を施した水盤を、内側の壁



には友禅模様のガラスを、各階は内廊下にし、その壁は塗り壁で設え、和のテイストをふんだんに取り入れています。特に、エントランスの友禅模様のガラスは夜にはライトアップされて美しく、わざわざ写真におさめていかれる観光客も見受けられます。

二階から十一階の住戸は色々なタイプに別れており、家族や、夫婦、単身、セカンドハウスとしてなど、さまざまな住まい方をしているマンションです。まだ二年経つたばかりなので、全戸の住民をお互い知らない状況ですが、少しずつコミュニケーションをとりはじめ、私たちの共有財産を守つていこうとしています。その一環として、エントランス周りの環境をよりよくするべく、エントランス改善委員会を立ちあげ、様々な問題を取り上げ、活動しています。

また、マンション内で広報委員会も立ち上げ、マンション内はもちろん、町内会や保存会、自治会ときちんと伝統を守つたお付き合いをしていこうと活動を始めています。

☆ 明倫幼稚園をお借りして

当マンションには、管理組合が会議を行えるスペースがないため、月に一回行わ

れる理事会には、明倫幼稚園の会議室をお借りするようになりました。

その建物や内装を拝見しますと、幼稚園とは思えないその豪華さに明倫学区の伝統の深さを感じずにはいられません。マンションから近い場所にこのような施設があることを、非常にありがたい思いながら使用させていただいております。

月一回の理事会には、第二期の理事会後半から、理事会メンバーの他に、先述のエントランス委員会と広報委員会の委員長、副委員長も出席し、それぞれが報告・検討事項の資料を準備して討議するという活発的な会議を行っております。まだまだ始まったばかりの管理組合のため、討議する内容が多く、数時間かけて会議することもしばしばです。さらに役員を未経験の住民の方にも理事会運営に関心をもちたいべく、役員以外の理事会の傍聴参加も歓迎しております。

二期目に入つてから管理組合が活発に活動できるようになり、マンション内のコミュニケーションだけでなく、自治会や町内会ときちんと関わつていけるよう、動き始めております。MMNにも参加させていただき、他のマンションとコミュニケーションを図るだけでなく、一経験内容やご意見も拝聴し、参考にさせていただいております。十月十日の区民運動会や十一月十四日に開催されました防災訓練にも参加させていただきました。今後明倫自治会や町内会の皆様と足並みを揃えてまいりたいと思っております。

★祇園祭とネバーランド

室町通といえば、祇園祭。当マンションの一番の特徴といえるのは、やはり、菊水鉾がマンションの目の前に建ち、マンションから乗り込むということでしょう。

祇園祭のシーズンになると、エントランスにある水盤の水は抜かれ、そこに菊水鉾保存会が板を張り、その上には緋毛氈が敷かれ、鉾とマンションをつなぐ橋が渡されます。マンション内には普段は全く使用しない、祇園祭専用の階段があり、その時だけ解放されます。南隣の大松株さんとの間の扉が開けられ、鉾に上るには、そこから入り、階段をあげ、橋をわたって、菊水鉾に乗り込みます。

マンションから鉾に乗り込むというこの新しいスタイルは、マンションとはいえ伝統の地に住まう誇りと、今後その伝統と誇りを守っていかなければという強い気持ちを起こさせます。マンション内には個別に保存会に入会している住民もおり、住民アンケートの結果によると、祇園祭の際には、準備やそのお手伝いなど、もつと参加したいという声も多く、今後はさらにそういう動きがマンション全体に広がっていくと思われます。

☆明倫学区に溶け込めるように…

今や多くのマンションが建ち並ぶ明倫学区の中では、当マンションはまだまだ新参者で、右も左もわからないまま、二年が過ぎました。当マンションも十二月

から第三期を迎え、マンション内のことはもちろん明倫自治会、菊水鉾町内会、菊水鉾保存会や祇園祭とのよりよい関係を築いていこうと考えております。近隣の皆様との絆を深め、明倫学区の一員として活動していくことがマンションの価値を高めるだけでなく、私たちの住環境をますます豊かなものにし、明倫学区に住まう誇りを高めていくのではないかと考えております。この伝統ある明倫学区に早く溶け込めるよう、一つ一つ努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(文責ネバーランド室町通広報委員会)

町内探訪



第二十六回 炭之座町

五月 お千度
八月 地藏盆



供の人数が減っていました。世代交代により現在では小学生以下の子供の人数も六名に増え活気が出てきました。路地なので比較的、交通量も少なく、楽しそうに遊ぶ子供の声が聞えてきます。また、

炭之座町は、四条通りと錦小路通りに挟まれた小さな町内です。現在の世帯数は二十五世帯で内マンション二棟、会社二棟で、四条通から一歩入るだけで街中でありながら閑静で住みやすい町内です。炭之座町は、新町通りと西洞院通りの間の通りであることから、「釜座四条上ル」「釜座錦下ル」と言った方が、馴染み深いようです。また、「炭之座」の町名を調べたところ、その由来は不明でしたが、釜座通りとの関係から炭を扱う場所があったのではないかと、このことです。戦前は、室町界限に近いこともあり、のりおき、しつかい、ゆのし等、着物に関係した職住一体の家が多くありましたが、戦時中に多くの家が疎開し、その後町内に戻られた家は五軒ぐらいだったそうです。

炭之座町も高齢化が進み、一時期は子

「明寿会」淡路島へ行く！

「うわ、断層の地層で、こんなにハッキリ地質が違ふのやなあ。」こんな激しい揺れを感じてもどうしようもないなあ。」と、北淡震災記念公園にある「野島断層保存館」での話し声。

平成22年9月27日(月)朝から、明寿会で淡路島研修旅行にゆきました。京都バスの小型をチャーターして25名が乗車。明石海峡大橋を渡れば淡路島。観光協会のガイドさんが乗車され、あれこれ案内していただく。野島断層保存館では、地面が上下に約1m、左右でも約1mずれている断層が保存されて、野島断層の直上に建っていた住宅も保存され、公開しておられました。台所用品は足の踏み場も無いくらい乱れ、柱や鴨居はゆがみ、京都市内でも激しく揺れた地震がよみがえってきました。当時の震度7を体験しましたが、じつとその場にたたずむのみで「どうしようもない」ことがわかりました。



毎年八月に行われる地藏盆では、様々な年代の子供同士が一日中遊べる貴重な機会となつていきます。時代の流れに伴い、マンションや新しい住人の方々が増え、今までになかった課題もありますが、幅広い世代でまとまって問題を解決しています。記 宮川

ホテルニューアワジ「ベイサイド」で待望の屋敷会。淡路島観光協会の会長様たちと再会して、淡路そとめん定食をいただきながら親睦をはかりました。平成22年7月8日(木)元明倫幼稚園遊戯室で行われた「淡路島く京都・饅頭ハミ道中」の方々から、「ハモそとめん」の振る舞いをいただきました。祇園祭は別名、「饅頭祭」とも呼ばれるほど、ハモは祇園祭には欠かせないお魚です。明倫学区は山鉾町内を多く有し、祇園祭を受け継ぐ地域として選ばれ、山田京都府知事(淡路島出身)の肝いりで『御食国』淡路島のキャンペーンに選ばれた縁で、今回の淡路島研修旅行を実施しました。今年も是非「饅道中」で再会することと誓い合いました。

南淡路のうずの丘にある淡路人形浄瑠璃館では、人形浄瑠璃のレクチュアーを受ける。一路、淡路島を北上、岩屋港でガイドさんと別れ、たうエリーで明石港へ向かう。船上で我々は両手を差し上げ、雨のなか明石海峡大橋を皆で持ち上げ、たうエリーをハイパチリ。神戸市内で大渋滞に合い、区民運動会前日のフオークダンスの練習に遅れたことをお詫びしながら全員無事に帰宅しました。鯉山町 赤井又三郎



明寿会「敬老のついで」に参加して

去る平成22年10月31日(日)に、明寿会の「敬老のついで」の会がありました。約50名の老人が元明倫幼稚園の遊戯室に集まりました。

はじめに健康生きがい作りアドバイザーの谷口清美先生の『笑い与健康』についてのお話がありました。「老人は、笑って！しゃべって！脳を若々しく。」とのこと。若さを保つヒントとして、「①笑顔 ②考え方が前向きで明るい ③話し方や笑い声が元気 ④好奇心旺盛 ⑤手足を動かす ⑥自分流におしゃれを愉しむ」独居老人の私も全くのこのとおりとおもいました。

お昼には、皆さんと井傳さんの心のこもったお弁当を、おいしく頂きました。そのあとは、ビンゴゲームに歓声をあげまして楽しかったです。



一の明倫学区に八十余年過「させていただき、老人になりました今も、元気に明寿会サロンに寄せていただき喜んでおります。いろいろお世話をして下さいます方々に、厚くお礼申し上げます。皆様も家の中に引きこもらないで、気楽に明寿会サロンにお越しください。

天神山町 伊藤俊子

DEKIGOTO

区民運動会十月十一日(月)

快晴

十月九日の大雨で十日が順延になり十一日に明倫区民運動会が開催されました。一日予定が狂ったため参加者が危ぶまれましたが、多くの方が参加してくださいました。芸術センターのプフォーマンズは段々と人数が増えていき最後の一つになったという楽しいフオークダンスでした。



パン食い競争、綱引き、玉入れにはデスマークからの留学生も参加し、トフ、パンダも参加のにぎやかな一日でした。

記 長谷川

釜座茶会

十一月十二日

前号の記事で全容を紹介しました釜座町の町家が完成し、再生に「援助頂いたWMF副理事長のヘンリー氏、日本代表稲垣氏、景観まちづくりセンター理事長他関係者多数をお招きして、釜座町町家のオープニングセレモニーの茶会が開催されました。茶会では当町の第

十六代釜師・大西清右衛門さんが亭主を勤め、門川市長も駆けつけていた。ヘンリー副理事長は、見事に再生された町家に変身して満足して頂いたようでした。京都文化博物館では再生プロジェクトのビフォーアフターがパネル展示され、作業工程や、子供達が参加した木舞掻きのパネルに大勢の見学者が見入っていました。

記 長谷川

明倫文化祭

十一月十三、十四の両日、芸術センターにて文化祭が開催されました。大広間では「柳水の茶会」が催され、地域から「大日社中」「竹中社中」の皆様方によるお琴演奏のなか、多数の方々茶席をうずめられました。

講堂では、「倫の会」コロシアス「大正琴とお琴」の共演が開かれ、多くの方々も一緒に歌っておられました。

十四日の日曜日には、明倫学区内分譲マンション住民対象の、「一斉避難訓練」が開催され、通信病院からもご参加いただき、三角巾の使い方など緊急対応





について熱心に聴いていただきました。
釜座町会所修復工事完了に伴い、フリースペースにて、京町家のシンポジウムも催され、明倫が京町家保存修復の中心拠点としての活動が期待されています。

夜には、講堂で第二十回ペトロラピアノコンサートが開催されました。小鳥の鳴き声、声帯模写とピアノとの競演は珍しく、しかも楽しいひとときでした。

記 井上

第20回ペトロラピアノコンサート

「猫とピアノの音楽祭」―四代目江戸家猫八襲名記念公演―

先般、四代目を襲名された江戸家猫八師匠をお招きし、声帯模写とペトロラピアノとのコラボレーションという、ペトロラの会初めての試みでした。

猫八師匠のために作曲されたコンチエルト「動物の四季」(作曲 山本直純)からホトトギス、虫、猫の鳴き声を交えた楽しい曲

をご披露いただき、また後半には私たちも良く知っている「ふるさと」や「子犬のワルツ」に鳥の声やもろんだの声が入り、普段耳慣れている曲とはちうと違う雰囲気を楽しみました。
猫八師匠と子息の岡田真一郎氏が声帯模写を、ピアノニストは斎藤美香さんでした。
記 小島



次回お知らせ

第21回ペトロラピアノコンサート

ニゴイヤール・ペトロラコンサート

日時：平成23年1月29日(土)

会場：京都芸術センター2階 講堂

ペトロラの会でたびたび演奏をお願いしている植村照さん(ピアノ)と上田治子さん(ヴァイオリン)、斎藤 景さん(ソプラノ)にご出演いただきます。

お年寄りと子供のふれあい広場

社会福祉協議会 寺江

十一月二十五日(木)に元明倫幼稚園で、十時三十分〜十二時まで開催致しました。

区内のお年寄り二十一名、高倉小学校四年生二十名の出席でした。
四年生のあいさつ、お年寄りのあいさつから始まり、四年生の歌、リコーダー演奏を楽しく聞かせて頂きました。
子供たちの質問コーナーでは、



● 昔の給食
● 昔流行した遊び
● 昔の暮らしの様子
● 戦争中の暮らし(食べ物など)
● 軍歌ってどんなもの。
等の質問が出て、お年寄りの方々が、ご自分の体験の中から丁寧に答えて頂きました。
お遊びでは、村尾様(西錦小路町)のご指導で
● ストロー飛行機
● 不思議な模様の出るベンハムの駒
● 山登り人形等
お年よりも子供達も興味のある、面白い遊びなので、アツと言う間に出来上がりました。

皆で一緒にお茶とクッキーを頂き、子供達のリコーダー伴奏で「もみじ」を全員で唄って終わりました。
PTAの地域委員のお母様方も協力して頂き、短い時間でしたが楽しく充実した授業になったと思います。

町名表示板製作発表式

十一月二十七日京都コンサートホールにて、森下仁丹(株)の町名表示板製作発表式が行われました。明治時代に作製され京都市中に貼られていた、懐かしい仁丹マークの町名表示板。森下仁丹(株)の記念行事として、二十五の表示板を作製されます。



また墨書で書く書家の方々も応募されました。
抽選の結果、明倫学区では釜座町、三条町、六角町、百足屋町、小結棚町、以上五町の町会所に新たな町名表示板が掲げられることになりました。

いずれも京町家木造の柱と漆喰の白壁に、仁丹のホーロー製表示板が良く似合うものと思われます。記 井上

明倫Xmas会(社協主催)

「子供たちも交えてにぎやかに…」
十二月四日自治連合会館遊戯室で大勢の子供たちを交えて、恒例「明倫クリスマス会」(社協主催)が行われました。中京消防署から出演された、近江屋恭平さんの落語「火事と家事」に大きな笑いがおこりました。また山崎祥平さんのハートモニカ演奏にも大きな拍手が送られていました。子供たちによるクリスマスキャンドルを吹き消した後、サンタさんによつて、全員に大きなクリスマスケーキが配られました。皆さんとても楽しんでおられましたよ。 記 井上



もちつき大会のおしらせ

二月六日(日)十一時から一時まで自治会館にてもちつき大会を開催します。ぜんざい、きなこ、あんこ、おろしもちの四種類が食べられます。

園庭でおもちを搗いています。明倫学区民誰でも参加できます。みんなで搗きにきてください。無料です。

ボウリング大会のおしらせ

三月十三日(日)十時からNK上賀茂ボウルにて明倫体育振興会主催でボウリング大会が開催します。参加費七百円で三ゲーム軽食付き、送迎バスあり、五歳から参加できます。ストライクを出すとお菓子もらえる賞もあり毎年百人を超える参加者があります。今年も奮って、参加してください。

町内回覧版にて町会長を通して申し込みください。

明倫きつぱーくのお知らせ

毎月第二火曜日十時から十一時三十分まで自治会館遊戯室で、0歳から5歳までの乳幼児とその保護者対象にこどもの遊び場を開催しています。主催は中京区役所子供支援センターです。後援 明倫社会福祉協議会、明倫民生委員主任児童委員、保健所、聚楽、壬生保育所、御前、同心児童館。いろいろなおもちゃがあり、保育所の先生のお話や手遊び、悩みことも聞けます。気軽に参加してください。第三火曜日はフリースペースとして場所をもっています。すきなおもちゃも自由に遊びにきてください。参加費無料、申し込みはいりません。

記 北川

明倫人 ⑩

今回は平成二十二年年度の現代の名工(日本料理)に選ばれた京料理「井傳」三代目・井山修一さんにお話を伺いました。

まず最初に驚かされたことは、明倫小学校卒業された後、同志社に進み、大学では経済学を学ばれたと言う異色の肩書きでした。てつきり若いころから、どちらかの料亭で修行されたものと思っていたのですが、料理は大学卒業後にお父様から「見て、食べて覚えなさい」と言われ、「習うより慣れよ」の教えの下に、いろいろ苦心されたようです。

当時(昭和三十年代)は、現在のようにテレビや本など豊富にレシピの載っているものがある時代ではなかったため、父親達が創った京料理研究会に入会、いろいろなお店の板前さんを招いて、研鑽を広められました。

その後料理屋の二世が集まって作った、若手のための「京料理研究会(めばえかい)」に入会、全国大会に出席するなど勉強され、研究会の会長を経て、京都料理組合の副会長、京料理研究会副会長を歴任。

平成十六年に京都府の「現代の名工」



(京都府優秀技能者表彰)を受賞され、現在は料理生活衛生同業組合の理事をされています。

「井傳」の歴史について伺いすると、創業は明治三十年、初代が鳥羽清というお店で修業された後、独立、お名前の「井山修三郎」から「井傳」をスタートされたそうです。

最初は当時の慣らひとして、料理屋ではなく仕出し屋として開業され、室町の問屋へ「おかず」や「酒の肴」を入れておられたそうですが、二代目が戦争に出兵され、配給米を「おじや」にして配ったこともあったそうです。戦後は「仕出し、弁当の工夫」に力を入れ、仕出し料理屋「井傳」として再開されました。明倫時代のことを伺うと、修一氏が明倫小学校に在学中は三年生までがイロハ組で四年生になった時からABC組に変わったこと、当時の講堂正面には昭和天皇・皇后陛下の写真が飾ってあったことなど話して頂きました。

最後に「井傳」の心得については「四季に応じた工夫が大切であり、色彩、デザインなどの感性を磨くことが必要」と言い切れ、四代目(和彦さん)にも「見て、数をこなせ」と指導されています。

記 長谷川

明倫学区平成22年

6大ニュース

① 新本部体制発足 四月

自治連運営を円滑にするため本部役員を会長、副会長、会計以外に七名増やした十名体制に改革。

② MMN発足 四月

明倫学区にある十六のマンシヨンの情報交換のためのネットワーク組織が発足

③ 吉田孝次郎氏山鉾連合会理事長就任 八月

平成二十二年八月より祇園祭山鉾連合会の理事長に当自治連会長の吉田孝次郎氏が就任。後祭りの復興を提唱。

④ 卓球部中京区大会準優勝 一月

2007年の優勝に続いての快挙。

⑤ 松坂屋撤退 九月

新町通りのシンボルでもあり、京都の老舗商業建築物の一つである松坂屋が昨年九月をもつて閉鎖。跡地利用は？

⑥ ラクエ完成 十一月

四条烏丸の元三菱銀行跡に出来た地上八階地下二階の商業ビル。新風館、コト地下、「コン」などとともに京都の伝統である食フアツシヨ・ライフの中心地として期待される存在。

芸術センタースケジュール

■ 展覧会ドクト2011「TRANS

COMPLEX—情報技術時代の絵画—

展覧会ドクト2011の入選者による展覧会。ルールやシステムをキーワードに絵画の現在形を問います。

会期：2月5日(土)～2月27日(日)

10:00～20:00

会期中無休・入場無料

会場：ギャラリー北・南

■ 継ぐことと伝えること

アートマネージメント講座「伝統芸能の舞台裏」

①座談会「伝統ダイアローグ—U30が考える伝統芸能の未来—」

二十代を中心とした伝統芸能関係者による座談会。これからの伝統芸能について議論します。

日時：2月10日(木)19:00～21:30

会場：大広間

出演：桂吉坊(落語家)、金剛龍謹(金剛流能楽師)、茂山童司(大蔵流狂言師)

進行：木ノ下裕一(木ノ下歌舞伎主宰)

／演出家)

・定員：八十名

②能楽講座「能装束から知る能の楽しみ」

日時：2月25日(金)19:00～20:30

会場：和室「明倫大広間」

出演：豊嶋晃嗣(金剛流能楽師)、佐々木洋次(佐々木能衣装)

司会：木ノ下裕一(木ノ下歌舞伎主宰)

演出家)

・定員：各席20名

・料金：①②③すべて無料

※会場までの交通費は各自負担

申込方法：催し名(①②③)・氏名・電話番号を添えて、ウエブ申込フォームTEL・FAXでお申込みください。窓口でも受け付けます。

・定員：八十名
・料金：無料
③三味線講座「裏方からみる舞台の魅力」

三味線職人の工房を訪ね、楽器製作の現場を見学します。

日時：3月6日(日)13:00～16:00(現地解散)

集合場所：京都芸術センターインフォメーション

会場あじき路地(京都市東山区)

出演：野中智史(三味線職人)

ナビゲーター：たきもとよし(フルート奏者)

・定員：十五名

・料金：①②③すべて無料

※会場までの交通費は各自負担

申込方法：催し名(①②③)・氏名・電話番号を添えて、ウエブ申込フォームTEL・FAXでお申込みください。窓口でも受け付けます。

・料金：①②③すべて無料

※会場までの交通費は各自負担

申込方法：催し名(①②③)・氏名・電話番号を添えて、ウエブ申込フォームTEL・FAXでお申込みください。窓口でも受け付けます。

・料金：①②③すべて無料

※会場までの交通費は各自負担

申込方法：催し名(①②③)・氏名・電話番号を添えて、ウエブ申込フォームTEL・FAXでお申込みください。窓口でも受け付けます。

・料金：①②③すべて無料

※会場までの交通費は各自負担

申込方法：催し名(①②③)・氏名・電話番号を添えて、ウエブ申込フォームTEL・FAXでお申込みください。窓口でも受け付けます。

・料金：①②③すべて無料

※会場までの交通費は各自負担

申込方法：催し名(①②③)・氏名・電話番号を添えて、ウエブ申込フォームTEL・FAXでお申込みください。窓口でも受け付けます。

・料金：①②③すべて無料

※会場までの交通費は各自負担

申込方法：催し名(①②③)・氏名・電話番号を添えて、ウエブ申込フォームTEL・FAXでお申込みください。窓口でも受け付けます。

・料金：①②③すべて無料

※会場までの交通費は各自負担

申込方法：催し名(①②③)・氏名・電話番号を添えて、ウエブ申込フォームTEL・FAXでお申込みください。窓口でも受け付けます。

・料金：①②③すべて無料

※会場までの交通費は各自負担

申込方法：催し名(①②③)・氏名・電話番号を添えて、ウエブ申込フォームTEL・FAXでお申込みください。窓口でも受け付けます。

・料金：①②③すべて無料

※会場までの交通費は各自負担

・料金：千円

申込方法：ウエブ申込フォームからお申込みください。複数名お申し込みの場合は、メッセージ欄に全員の氏名・住所・電話番号を添えてご送付ください。

往復はがきでお申込の場合は、明倫茶会と明記の上、住所、氏名、電話番号を添えてご送付ください。

はがき一枚につき一名様。同席希望の場合もお申込は一人一通、はがきにその旨を記入ください。応募者多数の場合は抽選。

締切：1月11日(金)

※ウエブ申込は十一日中、往復はがきは当日消印有効。

■ 第304回市民寄席

開催日時：3月6日(日)

開場13:30 開演14:00

会場：講堂

出演：演目(出演順)：桂三弥「隣の桜」

桂米紫「四人ぐせ」桂小春団治「大名将棋」笑福亭松枝「市助酒」

・料金：前売一五〇〇円当日一八〇〇円

チケット取扱：京都芸術センター、大丸京都店

高島屋京都店、京都会場、チケットぴあ、コード：40887にて販売。

※前売り券完売の場合、当日券は販売いたしません。

問合せ：京都芸術センター

編集後記

明倫ニュースがどれくらい読まれているか？聞いてみると、意外にもよく読まれているらしい。でも、記事内容について訊ねてみるとあまり印象が無いという答えが返ってきます。如何にして皆さんに関心を持っていたただけるかが大きな課題と思っています。

長谷川